

町田市に迫るクマ出没リスク

～6月議会でクマ対策の強化を求めました～

◎急増するクマ出没情報！

全国的にクマの出没件数が急増しています。東京都内においても同様であり、市民の皆様から「**町田市は大丈夫？**」といった声が寄せられています。

◎町田市のすぐ隣にもクマ生息域が

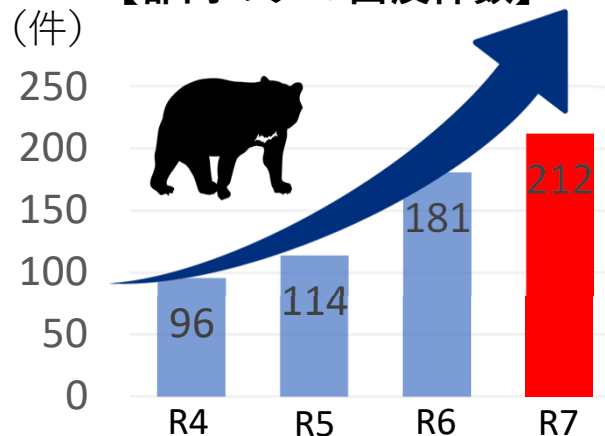
東京都が公表している「TOKYOくまっぷ」をもとに、主なクマ出没地点をプロットしました。

地図を見ると、出没情報は奥多摩町や青梅市など西多摩地域に集中している一方で、八王子市の高尾山周辺や南浅川町（町田市のNature Factory東京町田と隣接）にもクマの出没情報が出ていることが分かります。

東京都によれば東京は世界的にも珍しいクマが生息している首都とのことですが、町田市のお隣である**八王子市には現にクマが生息しています。**

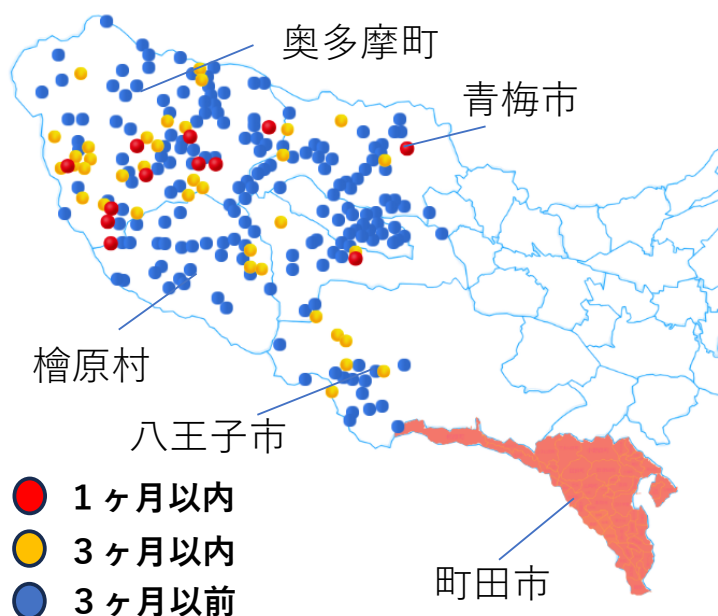
Point！ 町田市西部はクマの生息域に近く
無関係とは言えない状況です。

【都内のクマ出没件数】



※出典：環境省「クマの出没状況（速報値）」
<https://www.env.go.jp/nature/choju/effort/effort12/syutubotu.pdf>

【都内のクマ分布図】



※東京都「TOKYOくまっぷ」（2026年7月13日時点）をもとに、「みんなの行政地図」上に出没地点をプロットして作成した。



2026年6月号-2
No.77

おぜき重太郎 プロフィール

埼玉県蕨市生まれ茨城県稲敷市育ちの49歳。早稲田大学卒。ものづくり（工場経営）をしながら電気通信大学を卒業。現場を知り技術を大切にする経験が市政での分析力や実行力の基盤に。2014年、町田市議会議員に初当選。建設常任委員長等を歴任し4期目の現在は議会運営委員長に就任。“今できることを全力で”を信条に町田の救急医療の強化などの公約実現、そして市民の皆様にとって一番身近な議員を目指し日々奮闘中。

◎相模原市にもクマが生息。進む対策

相模原市の緑区にはクマが生息しています。そして実際に**緊急銃猟**を想定した訓練が行われています。町田市西部の相原地区などは、八王子市のみならず相模原市とも山林でつながっており、町田市側にクマが迷い込む可能性があります。

相模原市立博物館に展示されているツキノワグマのはく製。シカ・イノシシ用のくくり罠に錯誤捕獲され、危険防止のためやむなく捕殺された個体とのこと。2023年には、同様の事例が相模原市緑区で6件確認されたそうです。

緊急銃猟とは？

クマが住宅地など人の生活圏に侵入し、人命への危険が高い場合、市町村長の判断で銃を使用した駆除を行うことができる。というものです。



◎町田市議会で質問しました

クマの生息域が町田市の近くまで広がる中、万が一の出没に備えた準備が必要と考え、6月議会でクマ対策について一般質問で取り上げて参りました。（次号に続きます）

6月議会での質問事項

- ✓ 町田市のリスク認識はどうか？
- ✓ 出没時の初動対応は？
- ✓ 関係機関との連携体制はどうか？
- ✓ 緊急銃猟への準備状況はどうか？
- ✓ 市民への周知・安全対策はどうか？

何よりも優先すべきは市民の命と安全です。その一方で、クマをむやみに排除するのではなく、人里へ迷い込ませないための対策も重要と考えます。人と野生動物が共存できる環境づくりについても十分な配慮を尽くして参ります。



重太郎

おぜき重太郎の

“こんな相談ありました”

おぜき重太郎は、町田市議会議員として、日々寄せられるご相談に真正面から向き合います。町田市に限らず、国や東京都を含めた行政に関するご相談についても丁寧に受け止めます。

時には制度の壁がありすべてが実現できるわけではありません。できない場合は理由をできる限り明確にお伝えし、時間がかかっても、別の解決方法がないかを考えます。

おぜき重太郎の“こんな相談ありました”では、実現したケースばかりでなく、実現に至らなかったケースも含めてお届けします。相談を通じて見えてくる地域や制度の課題を皆様と共有します。

発行：自由民主党・日本維新の会

連絡先：〒194-0211 町田市相原町879-4 担当：おぜき重太郎

Mail: 10tarou0923@gmail.com Tel: 090-5751-0482

自由民主党・日本維新の会会派は
国政連立の強みを市政に生かし
実行力と実現力で町田の課題解決
に取り組む政策会派です。